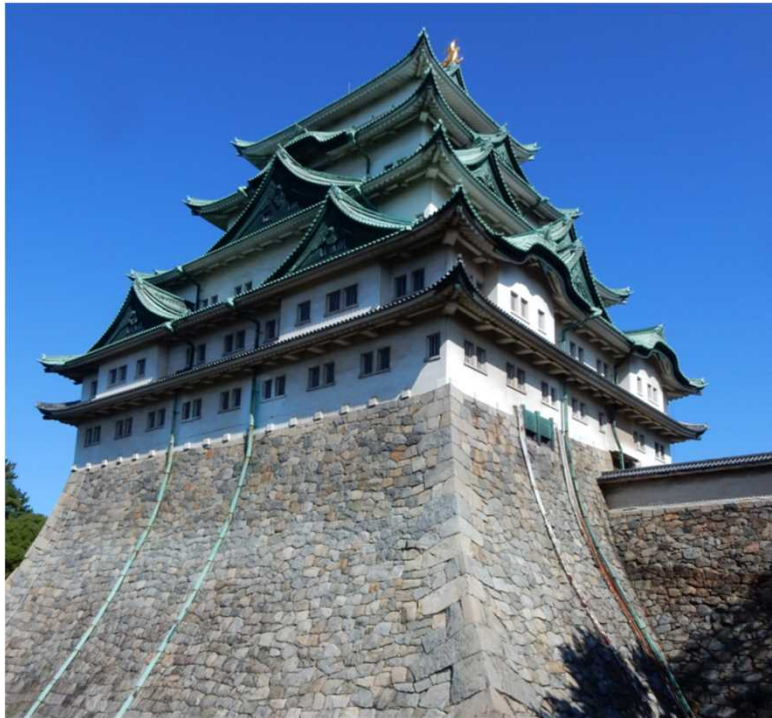
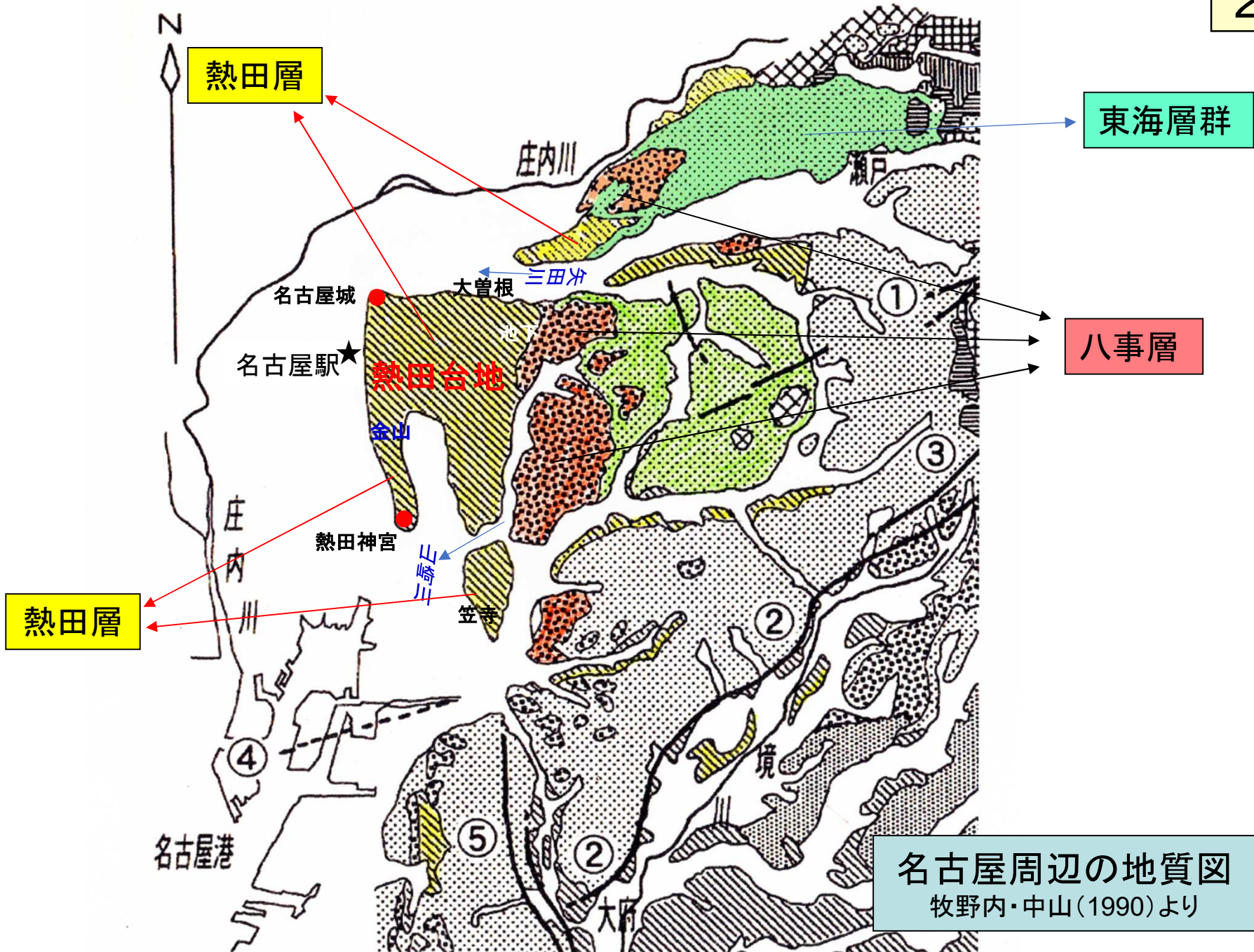


地質から学ぶ名古屋台地－ 名古屋城を中心に



1. 熱田台地の黒い土
2. 熱田の海－地質学の視点で
3. 高蔵貝塚－ヤマト政権と戦った王国



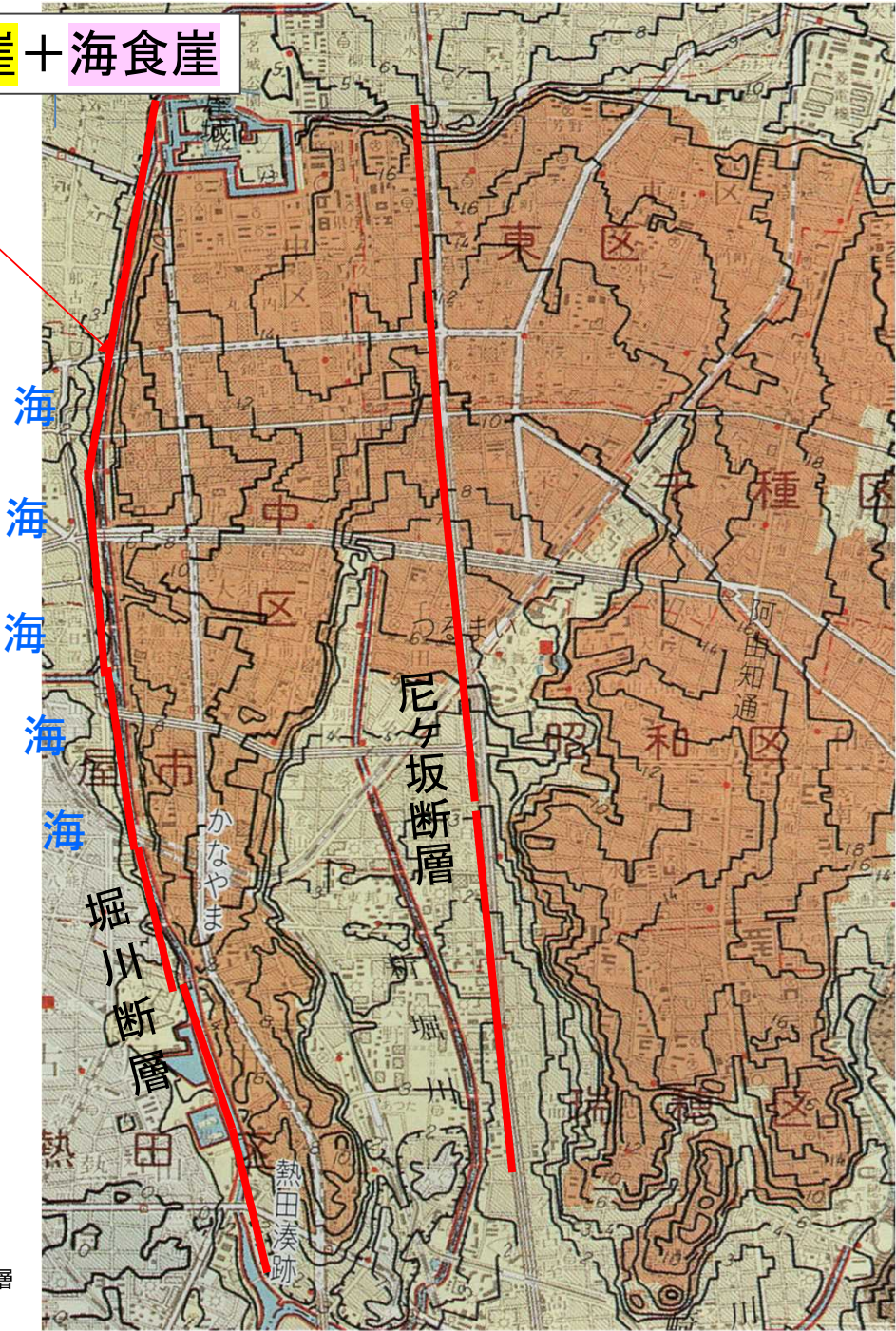
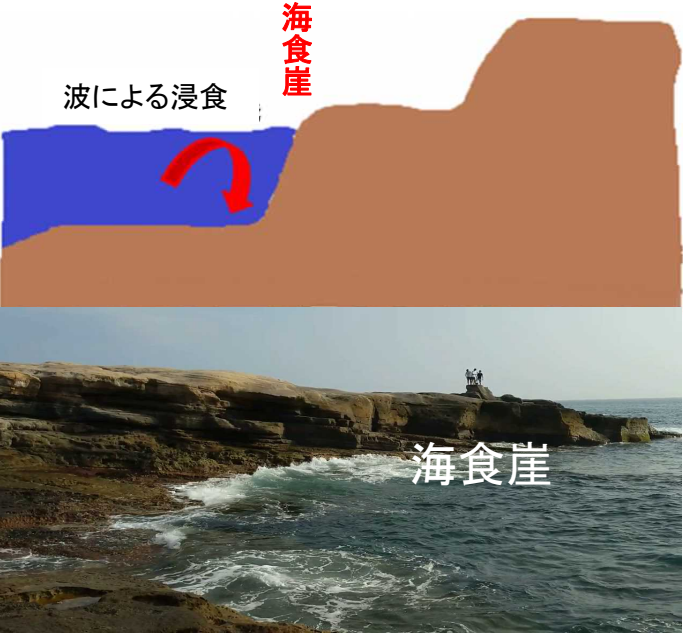


西側(低地)から眺めた名古屋城北西隅櫓<御深井(オフケ)丸北西隅>

熱田台地の西のへりは、**段丘崖**＋**海食崖**

熱田台地の西端に延びる高さ9mの崖は、最終氷期の頃の河川の浸食に伴う**段丘崖**に加え、縄文海進以降の河川や波による浸食崖(**海食崖**)と考えられる。

断層性のもの(杉戸ほか, 2012)という指摘もある(右図)。

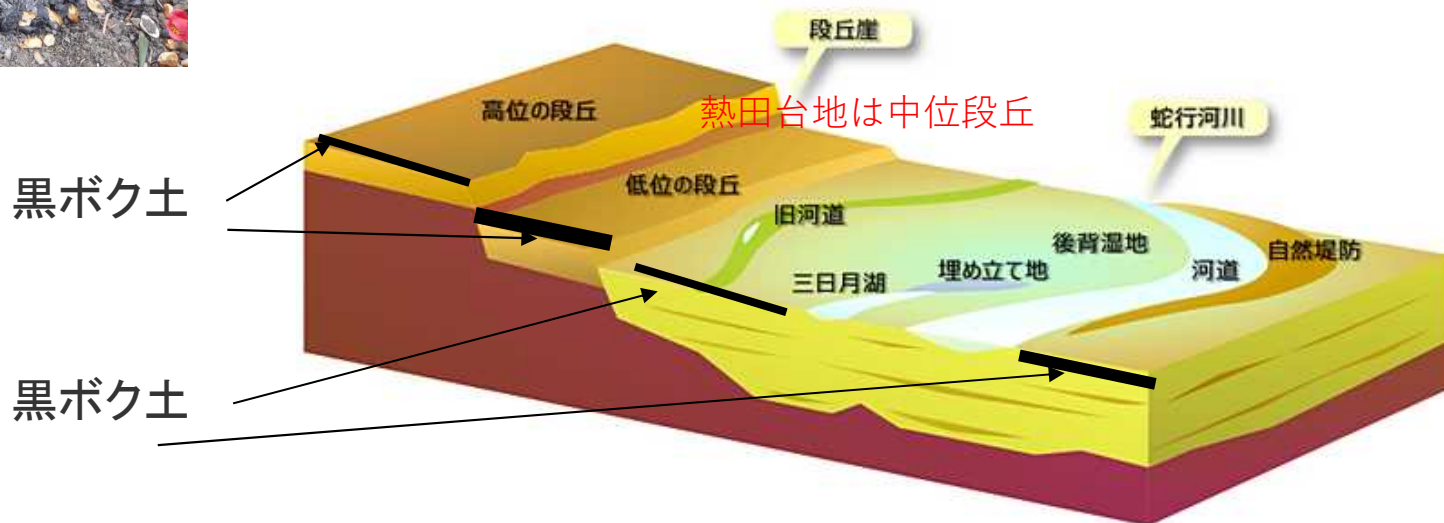


杉戸信彦・後藤秀昭(2012)名古屋市街地を縦断する活断層の変動地形学的検討. 日本地理学会講演要旨, 24-25

- 黒ボク土に炭片が入っていて真っ黒なのは、**縄文人**が山焼きをした燃えかすや木灰.
- 黒ボク土にススキやササなどの植物珪酸体が入っているのは、縄文人が草原に生えていた植物を焼いた証拠.
- 黒ボク土が、主に縄文時代早期～中期の年代値を示すのは、縄文人が山焼きした土であることの証拠.
- 黒ボク土が時代の異なる台地や丘陵地、低地などさまざまな場所に存在するのは、土が水流に運ばれたのではなく、風で運ばれた土であることの証拠.



たき火してできた木の燃えかすや木灰(森家にて)



中学生が習う理科の副教材「理科便覧」（愛知県版）に、2枚の図がのっている



地学用語の「熱田海」(熱田海進)

約14万年前の東海地方



氷河期の氷がとけて海面が上昇した(熱田海進)。

全国的には、横浜市鶴見区下末吉の地名をとって、「下末吉海進」

約6000年前の東海地方



海面が岐阜県大垣市付近まで上昇した(縄文海進)。

中学校の先生のうち、二つの図を説明できる先生が、どれだけいるだろう？

「熱田の海」に堆積した地層



熱田層

* 14万年前？に熱田台地がないのは良いとして、6000年前の縄文時代に熱田台地の形がないのはおかしい！

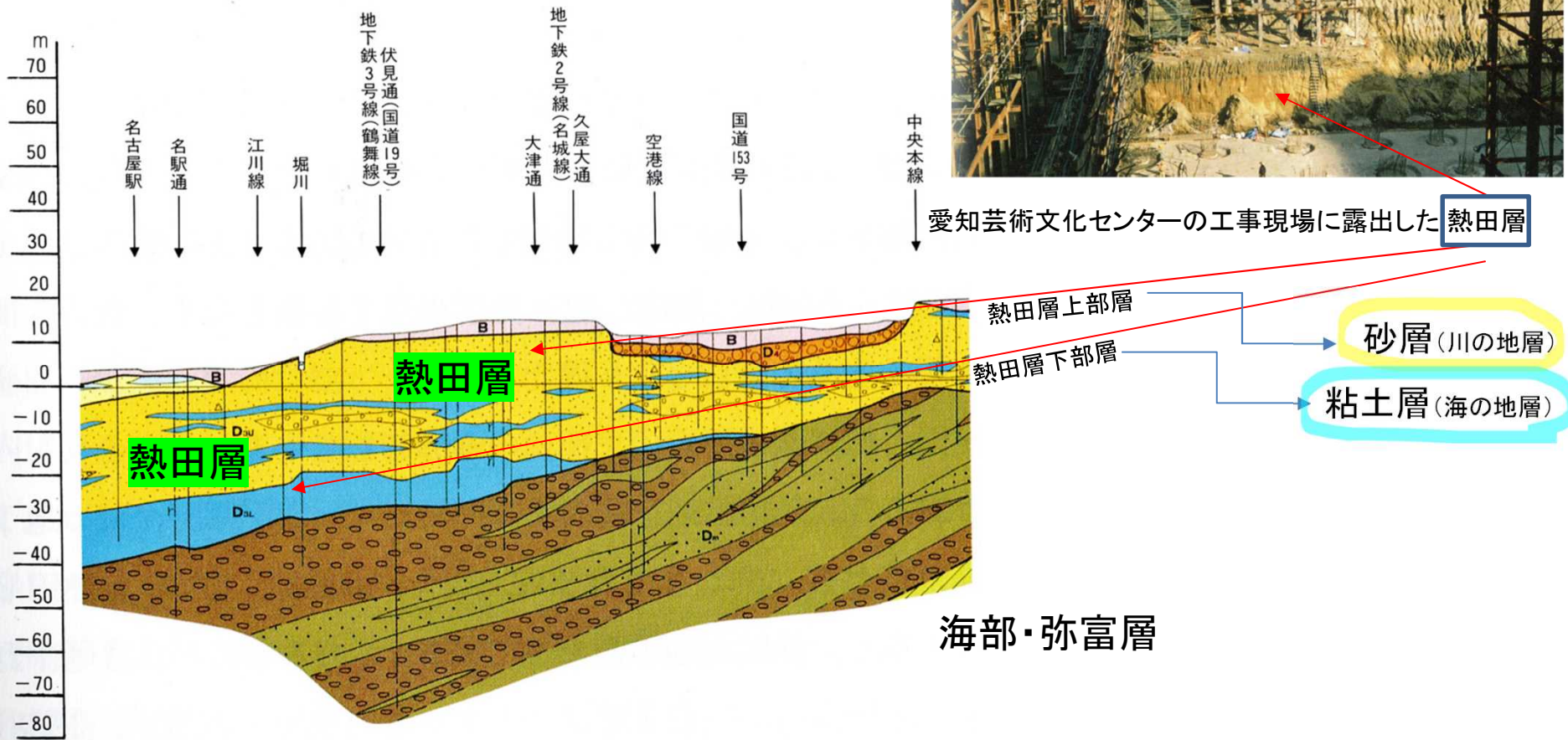
名古屋市史(自然編)を作る仕事で

栄の地下を調べると

熱田層がくっきりと現れた



愛知芸術文化センターの工事現場に露出した**熱田層**



熱田層の堆積と気候変動

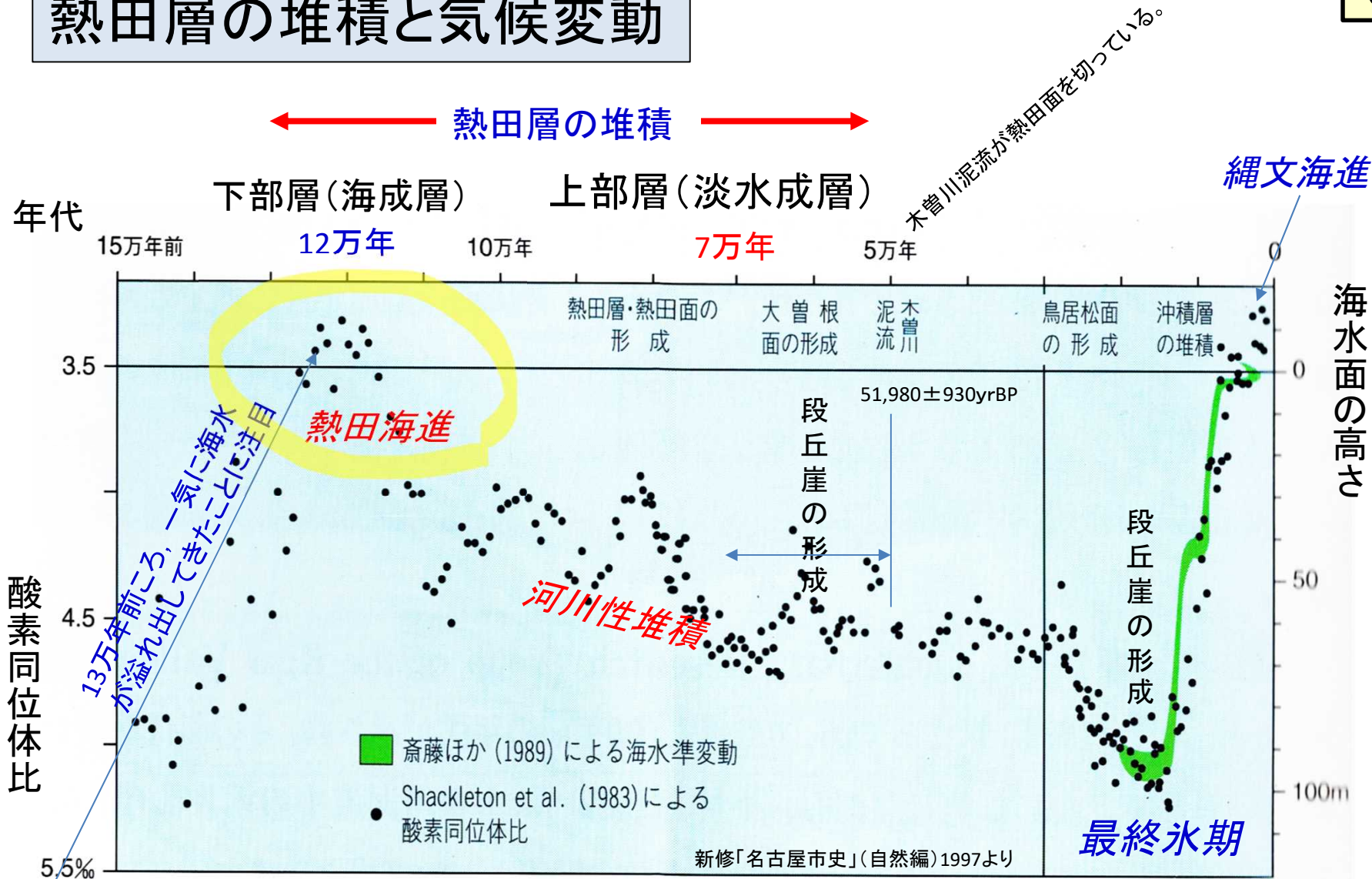


図2-36 名古屋付近の地形面形成期と最終間氷期以降の気温変化を示す酸素同位体比の値

「熱田の海」とは

12万8,000年前から11万5,000年前まで間、およそ1万3000年間継続した内湾の海

高蔵貝塚 高蔵遺跡

熱田区高蔵町に位置する

地下鉄「西高蔵駅」より北東へ300m

赤く塗られた特徴ある土器
パレススタイル(宮廷式)土器が
わが国で初めて見つかった遺跡。

台地と低地との接点であったことが重要

華麗な土器が見つかったことで全国に知られる

- ◆低地部に貝塚が形成され、海(あゆち潟)を基盤とした環境で、遠隔地と盛んに交流していた。
- ◆熱田台地上に営まれた全国屈指の弥生ムラ。防御のための濠をめぐらせた環濠集落。



パレススタイル土器 (弥生時代後期)



熱田区 **高蔵遺跡** は、金山駅から南に900mの熱田台地上にある。

京都大学の濱田耕作がギリシャのクノッソス宮殿から発見された宮廷式土器と比較しうるものとして命名。

高蔵遺跡の範囲

高蔵遺跡

パレススタイル土器をはじめ多量の土器が発見され、ハマグリやアカガイ、シカ・イノシシの骨などが出土した。

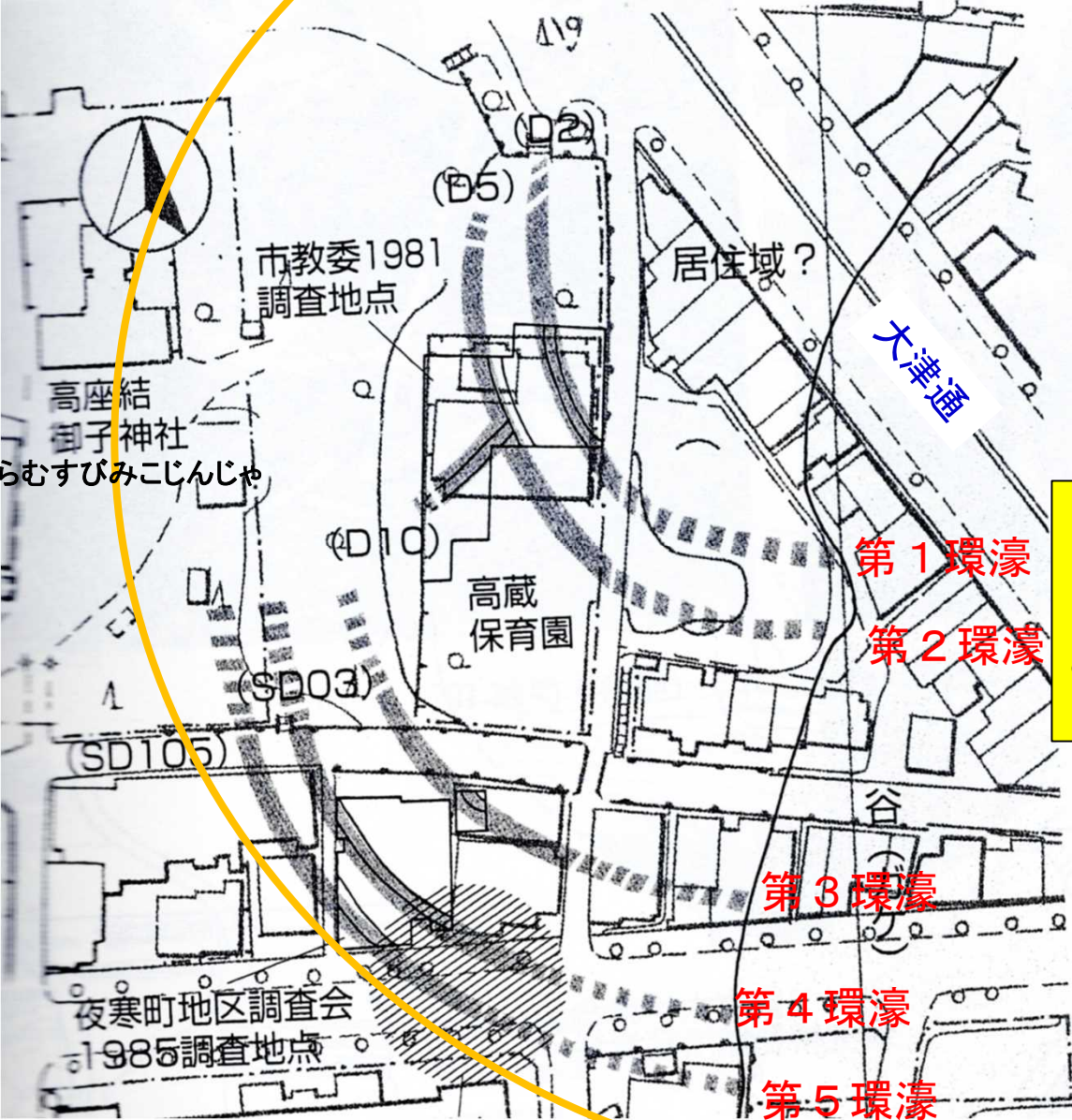
海で貝を採り、シカやイノシシをとらえて暮らすのどかな弥生人のイメージとはうらはらに、

◆戦闘用に使われたと考えられる石鏃を多産。
◆居住域を5重の環濠が取り囲み、嚴重に防御された要塞都市だった、と考えられる。

戦いに備えたムラ

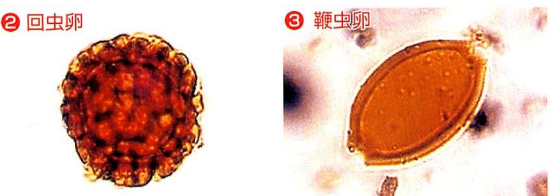
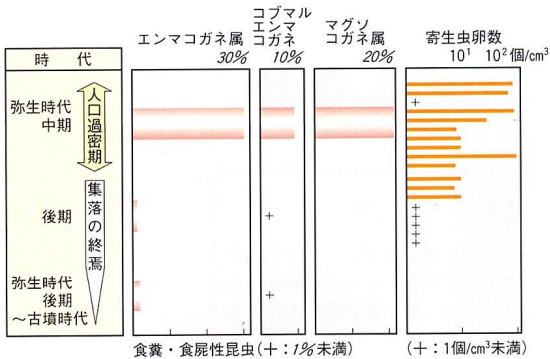
調査自体が古く、遺跡の詳細はわかっていない。
最も新しい調査は1985（昭和60）年。

そのうち、ごく小規模な調査



たかくらむすびみこじんじや

Point 愛知県朝日遺跡は、弥生中期に約1,000人が住んでいた東海地方の代表的な環濠大集落(→p.27)である。急激な人口集中は周囲の環境汚染を進行させ、食糞性昆虫①や寄生虫②③を多く発生させた。都市環境問題が起こったのである。悪臭漂う都市には人は長く住めない。朝日遺跡の集落が弥生後期に衰えたことは、都市型昆虫の激減でもよくわかる。



高校日本史図表(とうほう)2018年版

この時代

遺跡の繁栄は、ヒトの多さ、排泄物の多さに比例する

大

縄文中期 弥生中期 弥生後期 古墳前期 中世

弥生時代中期だけで、およそ1万点の糞虫

いずれも昆虫片に分離している
糞虫の数に直すと→約3000頭

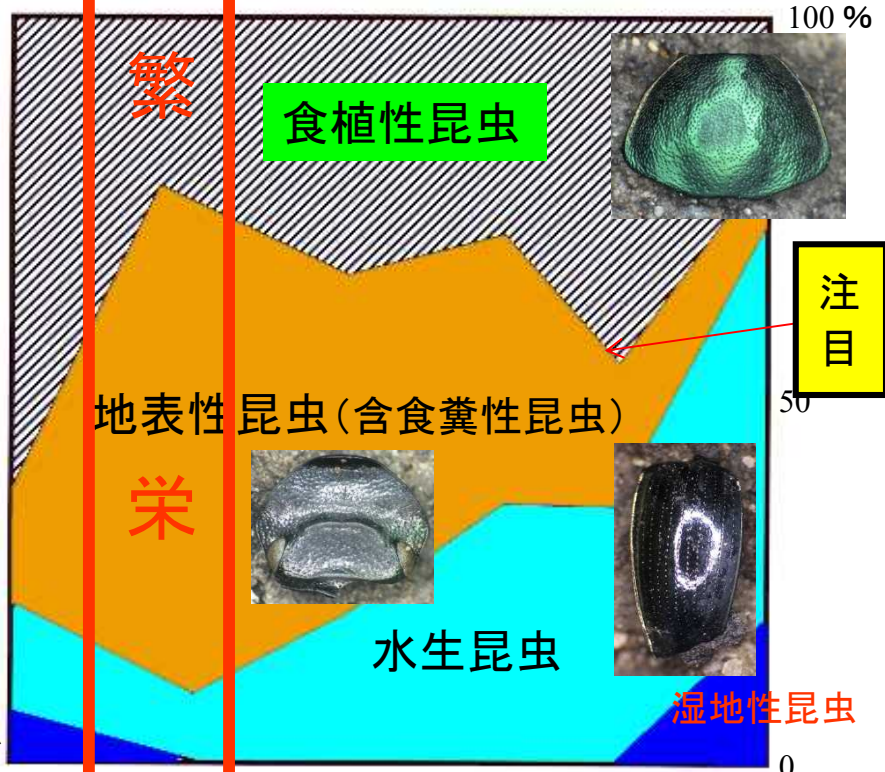
実際に生息した糞虫は、この100~1000倍

◆少なくとも「30万匹の糞虫」がいた
弥生時代中期が200年とすれば、1500匹/年

こうした糞虫の活躍がなければ

地表面はウンチだらけの黄金郷に

なっていた



昆虫化石の生息環境別出現率の推移

石の左はしをよく見ると



「当たり矢」と「三つ葉柏紋」の刻印

→ 土佐藩山内家の紋章である

のちに土佐藩出身・岩崎弥太郎が興した三菱グループの商標の原型になったものだ